

令和5年度大学生・専門学校生 薬物に関する意識調査

調査結果

本調査は関西四大学（関西大学、関西学院大学、同志社大学、立命館大学）が実施する「薬物に関する意識調査」と同じ項目で実施しております。

1 調査対象

調査協力者：京都府内の大学生・専門学校生 1,119人

実施期間：令和5年6月1日～12月31日

調査方法：Webアンケート

2 集計結果

各質問への回答状況は、以下の集計表のとおり。

回答日

令和5年6月	550
令和5年7月	252
令和5年8月	64
令和5年9月	127
令和5年10月	3
令和5年11月	2
令和5年12月	128

学年

1回生（1年生）	435
2回生（2年生）	265
3回生（3年生）	207
4回生（4年生）	165
その他	47

質問1 あなたは、薬物乱用問題について関心がありますか。(1つ選択)

(1) 非常に関心がある	98
(2) ある程度関心がある	406
(3) どちらともいえない	215
(4) あまり関心がない	183
(5) ほとんど関心がない	217

質問2 あなたは、以下の薬物の名前を知っていますか。(複数選択可)

(1) 有機溶剤 (シンナー、トルエンなど)	915
(2) 覚せい剤 (シャブ、スピード、エスなど)	1014
(3) 大麻 (マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	1066
(4) コカイン (コーク、スノウ、クラックなど)	961
(5) あへん類 (ヘロインなど)	765
(6) LSD (アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	269
(7) MDMA (エクスタシーなど)	733
(8) いわゆる危険ドラッグ (脱法ハーブなど)	760
(9) 知っているものはない	24

(次の質問以降は、質問2であげた薬物についてお聞きします。)

質問3 あなたは、これらの薬物についてどのような印象を持っていますか。(複数選択可)

(1) かっこいい	8
(2) 気持ち良くなれる気がする	86
(3) ダイエットに効果がある	11
(4) 眠気覚ましに効果がある	16
(5) 1回使うくらいであれば、心や体への害はない	13
(6) 心や体に害がある	910
(7) 犯罪に巻き込まれる	928
(8) 使ったり、持っていたりするの悪いことだ	894
(9) 1回でも使うと止められなくなる	923
(10) 人に渡したり、人からもらうことも悪いことだ	877
(11) 特にない	48
(12) わからない	18

質問4 あなたは、これらの薬物を使ったり持っていたりした場合、また、他人に譲渡したり、譲渡された場合、どうなるとお考えですか。(1つ選択)

(1) 罰せられる	1074
(2) 罰せられるものもある	33
(3) 1回くらいなら、罰せられない	0
(4) 罰せられることはない	2
(5) わからない	10

質問5 あなたは、これらの薬物について学んだり聞いたりしたことがありましたか。(どちらかを選択)

(1) あった	1074
(2) なかった	45

質問6 あなたは、薬物を使った場合、以下のようになることがあるのを知っていましたか。(複数選択可)

(1) 現実と幻想との区別がつかなくなり、意識が異様になることがある	1058
(2) わけもなく怯えたり(妄想気分)、意識がおかしくなり、奇妙な動作・行動をとることがある	1000
(3) 自分の行動に干渉する声が聞こえる(幻聴)ことがある	957
(4) 何事にも関心が持てず、結果的に学校や職場を欠席しがちで、どんな仕事に就いても、長続きしなくなる	773
(5) 依存性があり、意思の力ではなかなかやめることができない	1063
(6) 知らなかった	11

質問7 あなたは、これらの薬物について何から情報を得ましたか。(複数選択可)

(1) 小学校の授業	690
(2) 中学校の授業	955
(3) 高校の授業	896
(4) 大学等が配布しているリーフレット等	97
(5) 大学等での啓発ビデオ	33
(6) 大学等での講演会	75
(7) 友達、仲間、先輩、後輩	68
(8) 家族	72
(9) ポスター、パンフレット	261
(10) 本、雑誌	130
(11) 新聞	140
(12) テレビ	550
(13) ラジオ	16

(14) 携帯電話	90
(15) インターネット	378
(16) SNS	234
その他	30

その他（一部抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> マンガ、映画、You Tube、ニコニコ動画 薬物に関するグラフィック制作で、薬物の種類や効果、薬物のやり取りによるお金の流れ等を調べた 生きていく中で一般教養として自然に身につけていた。
--

質問8 あなたは、これらの薬物を使うことの怖さ(有害性、危険性)をもっと知りたいですか。(1つ選択)

(1) 知りたい	330
(2) 知りたいとは思わない	338
(3) どちらでもない	451

質問9 あなたは、これらの薬物を使った場合の害について学ぶとしたらどこがよいと思いますか。(複数選択可)

(1) 大学等（講演会、ビデオ、リーフレット）	618
(2) 家庭	132
(3) 地域活動、自治体等の広報誌	162
(4) 図書館、公民館	103
(5) 保健所	129
(6) 警察	343
(7) 厚生労働省麻薬取締部	240
(8) 病院	243
(9) インターネット	383
(10) 講演会、座談会	214
(11) 特にない	119
その他	27

その他（一部抜粋）

<ul style="list-style-type: none"> テレビCM、テレビの特集 小学校、中学校、高校で学び続けるのが良いと思う。 実際に薬物使用者を見ている人や、取り締まっている人からの方が現実味があっていいと思った。 SNSの広告など、自然に目にとまるところが良い 警察官や心理専門職、医師等の学校への出張講義が効果的だと思う。 どのような場所であっても害を学ぶことはできるのではないかと思う。
--

質問10 あなたは、これらの薬物を使う人が増えているのはどのような理由からだと思いますか。

(複数選択可)

(1) 薬物が簡単に手に入るようになっている	769
(2) 本や雑誌等に薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	104
(3) SNS やインターネットなどに薬物を使ってみたいと思わせるような情報がのっている	448
(4) 社会のルールを守ろうとする意識が薄れている	239
(5) 薬物を使ってもすべての人が警察に見つかるわけではない	353
(6) 簡単にやせるとか、1回使っただけなら害がないなど、薬物のこわさについての誤った情報が多い	463
(7) 薬物の害について学ぶことが少ない	187
(8) 友達、仲間、先輩、後輩にすすめられる	561
(9) 学校や家庭がおもしろくない	317
(10) わからない	63
その他	61

その他 (一部抜粋)

- 貧困が蔓延し薬物を販売することが簡単に稼ぐ手段として認識されつつあるから。
- 人生への絶望、誰か or 何かによって救済されたいという気持ち
- 現実逃避の手段
- 興味本位
- 社会や現実から逃げたくなるようなことが体感的に増えているから。
- 薬物の使用によって発生する害を気にする必要がないほど、未来に期待を持ってない人が多くなっているように感じる。
- レゲェ界やHIPHOP 界で薬物をやってる人が普通にいるから
- 知り合いから勧められたりした時に、ハッキリと断ることが出来ない人たちが増えている。(自分の意思を言えないなど)
- 講演会や授業で習っていたとしても、現実味がないため危機感が薄れている
- 若者のやり場のない気持ちや、ストレス
- 薬物に逃避せざるを得ないような、息苦しい社会になりつつあるから
- SNS がどんどん普及している世の中になっていて、簡単に繋がることができたりするから若者でも手に入れやすくなっていると思う。
- 著名な人物の使用が報道されて、有名人もやってるからなど訳のわからないこじつけが、使用者を増やしている一つの原因だとおもう。
- あまりにも生きづらい世界だから
- 薬物であることを知らないまま服用してしまう
- 社会的な孤立や孤独感を抱えている (相談できる相手がいない、縋るものが欲しい等)
- ヒップホップなど薬物を賛美、美化するものによる悪影響

質問11 あなたは、これらの薬物を使うことについてどのように考えていますか。(1つ選択)

(1) どのような理由であれ、絶対使うべきではないし、許されることではない	990
(2) 1回位なら心や体へ害がないので、使ってもかまわない	2
(3) 他人に迷惑をかけないのであれば、使うかどうかは個人の自由である	103
その他	25

その他 (一部抜粋)

- 私自身は薬物に興味は無いし、デメリットの方が大きいので使用することは絶対に無いが、他人に迷惑をかけないこと・在住する地域や国で禁止されていないことを満たしていれば、使用は自己責任であると考えます。
- 使うことは良くないことだが、追い詰められて使用してしまう人もいると思うので、場合によってはなんとも言えない。
- 無理やり使わされそうになった場合や断りきれない性格の人もいると思うから悪いとは思いますが可哀想という思いがします
- 取りうるすべての方策を取った上で、薬物を使用する以外に自身の生命を存続する方法がない場合は仕方がない。
- それぞれの自由なので他人が使っていようとなんとも思わないが、自分は絶対に使いたくない。
- もし生きること自体に価値があるという立場を取れば、自殺しようと考えている者が薬物を使って生き延びることができるなら薬物を使用する価値は存在する。もちろん他の方法を取った方が良いのは言うまでもないが、絶対に使うべきでないとはまでは言えない。
- 医療目的以外で違法な薬物を使用することは許されない。また、市販の風邪薬などを用量、用法を守らずに過剰に摂取することも危険だと思う。
- 全面禁止されていない国があることを考えると、何があっても使用してはいけないわけではないと考えます。ただルールは守るべきだと思いますので、日本での使用は絶対 NG です。
- 薬物の使用を許してはいけないけれど、その行為に至った背景を分析し、場合によっては支援しなければならない
- 自分の学習不足かもしれないが、タバコは良くてそれ以外が認められない理由が分からない。
- (1)に賛同するが、国によって罰則規定や法的拘束力にばらつきがあること、法の網をかいくぐってでも入手したいと望む者がいる(一定の需要がある)こと、薬物の売買が反社会的勢力の資金源となっている(供給がビジネス化している)ことなどから、薬物を使わせない、(医療用等特定の用途を除き)作らせないための活動および仕組みの確立が不可欠と考える
- (3)が基本的な考えではあるが薬物使用において自身の中だけで完結することはほとんどないので、使うべきではないと思う。

質問12 あなたは、これらの薬物が使用されているところを直接見たことがありますか。(どちらかを選択)

(テレビ、映画、報道等で見たものは除きます)

(1) ない	1012
(2) ある	107

質問13 あなたは、これらの薬物を使用することや購入することを誘われたり、勧められたりすることが、これまでにありましたか。(1つ選択)

(1) 誘われたり、勧められたことはない	1052
(2) 購入を勧められたことがある	6
(3) 使用を誘われたことがある	13
(4) 無理やり使わされたことがある	3
(5) わからない	45

質問14 あなたは、これらの薬物を使用することを誰かに誘われたら、どのように行動しますか。(複数選択可)

(1) 誘った相手が誰であろうと、断る	1031
(2) 誘った相手によっては、断りきれないかもしれない	61
(3) 一回くらいであれば体に害がなさそうなので断らないかもしれない	7
(4) 好奇心や面白半分から断らないかもしれない	16
(5) 悩み事があったり、疲れていたりしたら断らないかもしれない	42
(6) わからない	40
その他	17

その他 (一部抜粋)

<ul style="list-style-type: none"> • 逃げる • 誘ってきた人との関係を断ち切る • 断る以前に興味がない • 警察に相談する • 誘いを断り、止めるように説得する。
--

質問15(ア) あなたの周囲に、これらの薬物を所持したり、使用している(いた)人がいますか。(1つ選択)

(1) いない	941
(2) いる (いた)	58
(3) わからない	120

質問15(イ) どの薬物でしたか。(複数選択可)

(質問15(ア)で「(2)いる(いた)」を選択した人だけお答えください。)

(1) 有機溶剤 (シンナー、トルエンなど)	11
(2) 覚せい剤 (シャブ、スピード、エスなど)	15
(3) 大麻 (マリファナ、ハッパ、ハッシッシュなど)	33
(4) コカイン (コーク、スノウ、クラックなど)	5
(5) あへん類 (ヘロインなど)	3
(6) LSD (アシッド、フェニックス、ドラゴンなど)	4
(7) MDMA (エクスタシーなど)	5
(8) いわゆる危険ドラッグ (脱法ハーブなど)	8
(9) わからない	11

質問16 あなたは、もし友人がこれらの薬物を使用していることを知った場合、どうしますか。(1つ選択)

(1) 使用をやめるように説得する	496
(2) 他の人 (先生や友人など) に伝える	162
(3) 警察に通報する	229
(4) 医療機関や保健所等に連絡する	49
(5) 個人の自由であるので放っておく	89
(6) わからない	68
その他	27

その他 (一部抜粋)

<ul style="list-style-type: none"> • 縁を切る • 自然と距離を置く • 薬物使用におけるデメリットを話し、薬物をやめたいか聞く。やめたいのであれば助け、ダメそうなら医療機関などに連絡する。 • 感想を聞く • 話を聞いてまずは相談に乗る • 使用に至った経緯を確認し、友人にとってどんな支援が必要か考えて動きます。
--

質問17 あなたは、これらの薬物に関する相談窓口があることを知っていますか。(複数選択可)

(1) 警察の相談窓口	378
(2) 行政機関の相談窓口 (精神保健福祉センター等)	173
(3) 厚生労働省麻薬取締部の相談窓口	115
(4) 医療機関の相談窓口	176
(5) 民間の支援団体の相談窓口	129
(6) 知らない	647
その他	0

質問18 あなたや、まわりの人がこれらの薬物に手を出さないように注意するために知りたいと思う情報は何か。(複数選択可)

(1) 薬物乱用による健康被害情報	698
(2) 薬物乱用により引き起こされた事件・事故の事例情報	654
(3) 国や地方公共団体等の薬物乱用対策情報	273
(4) 医療機関や民間支援団体の取り組み情報	269
(5) 特になし	178
その他	15

その他 (一部抜粋)

<ul style="list-style-type: none"> • 薬物だとわからない様 (例えばお菓子みたいな見た目) にされている場合、自分に判別できるのか少し不安があるので判別方法は知っておいた方が良いのかなと思いました。 • 世の中の人がなぜ薬物に手を出してしまうのか、という理由 • 薬物の購入に使用されるお金がどこへ行くのか。何に使われるのかといった、個人の行動により引き起こされる可能性のある、二次被害についての情報。 • 断り方のマニュアル • 薬物を誘われた際の相談窓口などの情報 • よく見られる入手ルート、薬物を使用した場合の症状 • 麻薬使用者のその後の人生 • 自分の住んでいる地域で薬物についての事件が起こったら大々的に教えてほしい 遠くの町で起こったことだと現実味がない • 法律

質問19(ア) あなたは、これらの薬物を入手可能と考えますか。(1つ選択)

(1) 不可能だ	434
(2) かなり難しい	203
(3) 難しいが手に入る	330
(4) 手に入る	152

質問19(イ) 入手可能と考えた理由は何ですか。(複数選択可)

(質問19(ア)で「(3) 難しいが手に入る」または「(4)手に入る」を選択した人だけお答えください。)

(1) SNS やインターネットなどで探せば見つけることができると思うから	399
(2) SNS やインターネットなどで販売されているのを見かけたことがあるから	41
(3) 友人・知人が入手方法を知っていると聞いたことがあるから	34
(4) 繁華街などの街中等で販売されていることを見聞きしたことがあるから	108
(5) それ以外	27

質問19(ウ) それ以外に入手可能と考えた理由は何ですか。

(質問19(イ)で「(5) それ以外」を選択した人だけお答えください。)

- 使っている人がいるんだから入手可能
- 住んでいる市内でも使っていた高校生が逮捕されるとニュースになっていたから。
- 規制が緩い海外で手に入る
- 薬物を使用する人が減らないので
- 有機溶剤は、塗装や建築関係の人間なら簡単に手に入るから。
- 学生が手に入れているなどのニュースを見て、手に入りやすくなったのかと思っている
- SNS で海外では簡単に手に入ると聞いたから
- 以前テレビ番組で薬物売買について報道しており、SNS に名前を伏せた売人が多く見つけられること、DM のやり取りで簡単に薬物が手に入れられてしまう現状を知ったから。
- 最近のニュースで、実際に大阪での麻薬グミなどによる薬物混合食品の販売などがあった。このニュースから意外と身近に薬物が潜んでいるのでは無いかと認識を改めた。

質問20 あなたは、医薬品医療機器等法により、危険ドラッグと称される薬物や商品(脱法ハーブ、合成アロマリキッドなど)の多くが、使ったり、持っていたりすると罰則の対象となる薬物になっていることを知っていますか。(1つ選択)

(1) 知っている	956
(2) 知らなかった	163